

尾久地区中学生の主張発表会(10月5日)



10月5日(土)、アクト21において、尾久地区中学生の主張発表会が行われました。本校からは2年生の竹内遥空さんと石塚遥風さんが発表を行いました。竹内さんは「学びの先に広がる未来」という演題で、石塚さんは「優しさと思いやり」という演題で、なぜ人は勉強するのか、優しさとは何なのかといった哲学的な問いについて真正面から主張をしていました。緊張しながらも、原稿を一切見ずに、主張を生き生きと伝えていた姿は多くの人に感動を与えたことでしょう。11月2日(土)に行われた文化祭においても堂々と発表しており、終えた後には感嘆の声が生徒も保護者の方々からも漏れていました。二人の姿を見て、何事にもすすんで考えられる生徒が増えることを期待します。



荒川区立中学校連合英語発表会(10月24日)

10月24日(木)、サンパール荒川の小ホールにおいて、第43回荒川区立中学校連合英語発表会が開催されました。

本校からは3年生スピーチ部門に3年C組の亀山結衣さんが、パフォーマンス部門に2年A組の飯塚結菜さんが出場しました。

亀山さんは、「Everyone is different, but everyone is good.」というタイトルで、スピーチをしました。自分の経験を踏まえて、一人一人がそれぞれの個性をもちながらも、お互いに理解し合うことの大切さをスピーチしました。



飯塚さんは、マーティン・ルーサー・キング牧師の「I Have a Dream」の暗誦を行い、長い英文を、感情を込めて発表しました。

2人とも、練習の成果を十分に発揮し、堂々と発表することができました。



11月は「ふれあい月間」

本校では11月を教育相談月間として、生徒のいじめ、暴力行為等の未然防止、早期発見・早期対応に努め、生徒が安心して通える学校づくりを目指しております。11月に実施する「いじめ・教育相談に関するアンケート」において教職員との面談を希望されたお子様につきましては、面談の実施を行います。



◎ホームページに、学校だよりを掲載しています。ぜひご覧ください。

祝開校記念日(11月22日)

令和6年11月22日は、原中学校31回目の開校記念日です。原中学校は、旧第六中学校と旧尾竹橋中学校が統合して、平成6年(1994年)4月1日に開校しました。

では、なぜ11月22日が記念日なのかというと、実は平成6年11月22日に今の校歌が制定されました。つまり、開校して半年以上、原中学校には校歌が無かったのです。大事に大事に、校歌を受け継いでいきましょう。



11月行事予定

月	曜	行 事	時程
1	金	文化祭前日準備	
2	土	創立30周年記念「第31回文化祭」 土曜授業公開日(給食あり) 東京都教育の日	
3	日	文化の日 尾久っ子ワクワクまつり	
4	月	振替休日	
5	火	各種委員会	B6
6	水	校内研修会 基礎補充教室	A5
7	木	中央委員会	
8	金	がん教育(1)	
9	土		
10	日		
11	月	生徒会朝礼	
12	火	脊柱側弯検診(1)及び対象者	
13	水	荒教研(教科部会)	B4
14	木		
15	金	期末考査Ⅰ 理・国・保体(給食なし)	特別
16	土		
17	日		
18	月	期末考査Ⅱ 数・音・技家(給食なし)	特別
19	火	期末考査Ⅲ 英・社・美(給食あり) 避難所運営講座(避難所HUG)	特別
20	水	領域診断テスト(1・3) 職員会議 基礎補充教室	
21	木	三館コラボ	
22	金	開校記念日	
23	土	勤労感謝の日	
24	日	都中学校英語スピーキングテスト(3)	
25	月	全校朝礼 読書週間始 地域清掃ボランティア	
26	火		
27	水	校内研修会(研究授業2年) 原保育園合同避難訓練	
28	木	秋季歯科検診	
29	金	受験写真撮影(3)	
30	土		



寄り添い 伸ばす

荒川区立原中学校

学校だより

11月号

令和6年11月11日

荒川区立原中学校

校長 村松 弘一

創立30周年記念 「第31回 文化祭」

副校長 谷口 賢

11月2日(土)、原中学校・第31回文化祭。朝からのあいにくの雨にも関わらず、延べ430名の皆様に御来校・御参観いただきました。今年 of 文化祭は、「釜石市被災地訪問報告」や「尾久地区中学生の主張」、「荒川区立中学校連合英語スピーチコンテスト」が復活し、ほぼコロナ禍以前のプログラムで開催いたしました。(私の記憶では、10年前には「教職員の合唱」や「大門小学校の児童のお琴の演奏」、「地元の原合唱団のコーラス」がありました…。原中の文化祭は、まさに「お祭り」でした！)



「釜石市被災地訪問報告」岩田琉那さん(2A)・藤田咲妃さん(2B)

保護者の皆様から、50通を超える御感想をいただきました。ありがとうございました。御感想の一部を紹介いたします。また、いただいた改善案等は検討して、より良い文化祭へと発展させます。

- 帰宅後に娘が、口を大きく開けることを意識するよう、お互いに声を掛け合い、励まし合いながら練習をしたと話してくれました。子供たちの文化祭への想いを感じることができ、温かい気持ちになりました。
- 久しぶりに聞く息子のピアノの音色が会場に響き渡り、一生懸命な姿に成長を感じました。新たな挑戦に向き合い、仲間たちと協力して成長していく姿を見守ることができ、保護者として嬉しく思います。
- 音楽を通して生徒たちの協調性や一体感を垣間見ることができ、親としてとても貴重な時間となりました。私が学生の頃に歌っていた曲もあり、時代を超えて歌い継がれる音楽の素晴らしさも実感しました。
- 息子は、生徒会本部役員・合唱コンクール実行委員として、毎日とても忙しそうでしたが、同時にとても楽しそうにっていて、充実した中学校生活を送っているようで嬉しく思いました。
- 3年生、中学最後の文化祭ということもあり、生徒が考え、主体的に取り組む様子が感じられました。あとは、卒業式を残すのみ。また違う顔を、さらに成長した姿を見せてくれることを期待しています。

文化祭(舞台発表・合唱コンクール)(11月2日)

創立30周年記念文化祭における合唱コンクール。今年も学年全体曲と各クラス1曲ずつの発表になりました。このうち全体合唱の曲は、3曲とも18年前になりますが、自分にとって初めてとなる合唱コンクールの課題曲でした。いずれも昔からの定番曲ですが、長く歌われる(大地讃頌に至っては60年も前の曲!)曲の魅力を、どの学年も醸し出していたような気がします。クラス曲は、各クラスがそれぞれ工夫を凝らした練習の成果を、緊張の中よく発揮してくれました。指揮や伴奏の生徒も、苦勞しながらも朝や放課後の練習を積み、一つの音楽を作り上げる大変さを学んで成長していききました。その経験は彼らにとって「金賞をとる」ということ以上に、大きな糧となるのではないのでしょうか。最後に、お子様の頑張りをいつも支えてくださった保護者の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。(音楽科 長尾 松荘)

